

石油の貯蔵・取扱量又は高圧ガスの処理量等変更に伴う報告書

年 月 日

神奈川県知事 殿

報告者

住所

氏名（法人にあつては、その名称及び代表者氏名）

石油の貯蔵・取扱量又は高圧ガスの処理量等に変更があつたので、石油コンビナート等災害防止法施行事務処理要領第4条（第5条）の規定に基づき報告します。

(特定)事業所の所在地及び名称	
変更理由	
変更年月日	年 月 日

石油等の貯蔵・取扱・処理量及び指数

石油類の最大貯蔵・取扱量		高圧ガスの総処理量	
石油類 (A)	油類(毒劇物を除く)(B)	高圧ガス(A)	高圧ガス(毒劇物を除く) (B)
kℓ (指数:)	kℓ (指数:)	N m ³ /D (指数:)	N m ³ /D (指数:)
別表1の(ア)の数量	別表1の(ア)の数量から()内の数量を減じた数量	別表2の(エ)の数量	別表2の(エ)の数量から()内の数量を減じた数量
基準数量 10,000 kℓ	基準数量 1,000 kℓ	基準数量 200 万 N m ³ /D	基準数量 20 万 N m ³ /D
石油以外の第4類の最大貯蔵・取扱量(B)	第4類以外の危険物の最大貯蔵・取扱量(B)	可燃性固体類、液体類最大貯蔵・取扱量(B)	高圧ガス以外の可燃性ガス最大貯蔵・取扱処理量(B)
kℓ (指数:)	t (指数:)	t (指数:)	N m ³ /D (指数:)
別表1の(イ)の数量	別表1の(イ)の数量から()内の数量を減じた数量	別表3の(オ)の数量	別表4の(カ)の数量から()内の数量を減じた数量
基準数量 2,000 kℓ	基準数量 2,000t	基準数量 固体 10,000t 液体 10,000 m ³	基準数量 20 万 N m ³ /D
毒物最大貯蔵・取扱処理量(B)	劇物最大貯蔵・取扱処理量(B)	第1種算定指数の計((A)の和)	第2種算定指数の計((B)の和)
t (指数:)	t (指数:)		
別表5の(キ)の数量	別表5の(ク)の数量	—	—
基準数量 20t	基準数量 200t	—	—

注1：石油類の貯蔵・取扱・処理量及び指数に係る各項目は、石油コンビナート等災害防止法第2条第4号、第5号に定める第1種事業所、第2種事業所を確立するためのもので、別表に掲げる1～5の各表において求められた数量を記入し、それぞれの基準数量で除して求められた指数を()内に記載するとともに、その指数の(A)と(B)の和を合計欄に記入する。

2：指数の算定は、小数点3位を四捨五入して2位までを記入する。